

普及職員（農業） A

〔例題1〕 マルチの目的とフィルムの種類に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

1. 地温上昇効果は、フィルムが黒色＞緑色＞透明＞シルバーの順に高い。
2. 除草効果は色が濃いほど高く、フィルムが黒＞緑＞透明の順に高い。
3. アブラムシ類の忌避効果は、フィルムが白黒＞銀黒、シルバーの順に高い。
4. 地温上昇抑制効果は、フィルムが銀黒、シルバー＞白黒の順に高い。
5. 光崩壊性フィルムは、赤外線で崩壊する。

【正答2】

普及職員（農業） A

〔例題2〕 水稻の不耕起移植栽培に関する次の記述について、空欄A～Dに該当する語の組合せとして正しいものはどれか。

不耕起移植栽培は耕起、代かきをせずに移植栽培をすることである。不耕起栽培の利点は省力・低コスト生産が図られることだけでなく、土壌の と同等の機能を持つ縦浸透がある根穴構造の発達があげられる。

また、 を行わなくても土壌硬度は高く維持される。その結果、 まで根の活力が高く維持され、秋優りの生育を示す。欠点は地下水位の 水田では漏水過多になることである。

	A	B	C	D
1. 団粒構造		かんがい	出穂期	高い
2. 団粒構造		かんがい	出穂期	低い
3. 団粒構造		中干し	収穫期	低い
4. 単粒構造		かんがい	出穂期	高い
5. 単粒構造		中干し	収穫期	低い

【正答3】